



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化 学 品 の 名 称 : ティシューテック オートライト トランスポートカートリッジ
製 品 コー ド : AP060342869
供給者の会社名称 : サクラファインテックジャパン株式会社
住 所 : 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-31-1 浜町センタービル
担 当 部 門 : 開発企画部
電 話 番 号 : 03-5643-2629 フリーダイヤル:0120-392-874 FAX番号:03-5643-3382
e - m a i l : general@sakura-finetek.com
一 般 用 途 : ティシュー・テック オートライト プリンター専用インク

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS分類基準に該当しない

ラベル要素

絵表示又はシンボル:なし

注 意 喚 起 語 : なし
危険有害性情報 : なし
安 全 対 策 : [P201] 使用前に本製品もしくは用いる装置の取扱説明書等があれば入手すること。
[P280] 必要に応じて、適切な保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応 急 措 置 : [P312] 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
保 管 : [P403+P404+P405] 換気の良い場所で、密閉容器に施錠して保管すること。
廃 棄 : [P501] 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成分名	化学式	含有量 (w/w%)	官報公示整理番号		CAS No.
			化審法	安衛法	
ジイソブチルグルタレート ^{注1}	C ₁₃ H ₂₄ O ₄	45-65	(2)-3635	2-(6)-1600	71195-64-7
アジピン酸ジイソブチル	C ₁₄ H ₂₆ O ₄	10-35	(2)-861,(2)-879	2-(6)-25	141-04-8
コハク酸ジイソブチル	C ₁₂ H ₂₂ O ₄	10-25	(2)-848	-	925-06-4

注-1)別名 : グルタル酸ジイソブチル

GHS 分類に寄与する不純物及び安定化添加物 : 情報なし

4. 応急措置

吸 入 し た 場 合 : 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
皮 膚 に 付 着 し た 場 合 : 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。
眼 に 入 っ た 場 合 : 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に
外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲 み 込 ん だ 場 合 : 口をすすぐこと。
飲み込んだ場合、気分が悪いときは、医師に連絡すること。
急性症状及び遅延性症状の : (3章に挙げる各成分において)
最も重要な徴候症状 : 情報なし
応急措置をする者の保護に必 : (ジイソブチルグルタレートとして)
要 な 注 意 事 項 : 情報なし

(アジピン酸ジイソブチルとして)

個人用保護具を着用すること。

(コハク酸ジイソブチルとして)

情報なし

医師に対する特別な注意事項 : (3章に挙げる各成分において)

情報なし

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂。

使ってはならない消火剤 : 棒状注水。

特有の危険有害性 : 燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法 : 火災の場合には、適切な消火剤を使用すること。

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項 : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。

多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。

二次災害の防止策 : 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

滑って転倒する事故を引き起こす可能性があるため、製品の拡散を避ける。

漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項 : 火気厳禁

使用前に本製品もしくは用いる装置の取扱説明書等があれば入手すること。

接触回避 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策 : 情報なし

保管

安全な保管条件 : 火気厳禁

換気の良い場所で保管すること。

保管場所は壁、柱、床を耐火構造とし、かつ、はりを不燃材料で作ること。

保管場所は屋根を不燃材料で作るとともに、金属板その他の軽量な不燃材料でふき、かつ天井を設けないこと。

保管場所の床は、床面に水が浸入し、又は浸透しない構造とすること。

保管場所の床は、危険物が浸透しない構造とするとともに、適当な傾斜をつけ、かつ、適当なためますを設けること。

保管場所には危険物を貯蔵し、又は取り扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

安全な容器包装材料 : 情報なし

8. ばく露防止措置及び保護措置

管理指標

物質名	管理濃度	許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)	
		日本産衛学会	ACGIH
ジイソブチルグルタレート	未設定	未設定	未設定
アジピン酸ジイソブチル	未設定	未設定	未設定
コハク酸ジイソブチル	未設定	未設定	未設定

ばく露防止

設 備 対 策 : 蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

保護具

呼 吸 用 保 護 具 : 必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。
手 の 保 護 具 : 必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。
眼及びまたは顔面の保護具 : 必要に応じて、適切な眼の保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具 : 必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物 理 状 態 : 液体
色 : 無色
臭 い : 無臭
融 点 / 凝 固 点 : 情報なし
沸 点 又 は 初 留 点 : 274-289°C
お よ び 沸 点 範 囲
可 燃 性 : 情報なし
爆発下限界及び爆発 : 下限 0.6vol%
上 限 界 / 可 燃 限 界 : 上限 4.7vol%
引 火 点 : 120°C以上
自 然 発 火 点 : 200°C以上
分 解 温 度 : 情報なし
pH : 情報なし
動 粘 性 率 : 情報なし
溶 解 度 : 水に不溶
n-オクタノール/水分 : 情報なし
配 係 数 (log 値)
蒸 気 圧 : 情報なし
蒸 発 速 度 : 情報なし
密度及び/又は相対密度 : 0.958 g/cm³ at 20°C
相 対 ガ ス 密 度 : 情報なし
粒 子 特 性 : 情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性 : 発火源と接触させない。強酸化物、強酸物質、強アルカリ物質と接触させない。

化学的安定性	:	密閉状態で通常の環境下では安定。
危険有害反応可能性	:	情報なし
避けるべき条件	:	(ジイソブチルグルタレートとして) 情報なし (アジピン酸ジイソブチルとして) 高温と直射日光、熱、炎、火花、静電気、スパーク (コハク酸ジイソブチルとして) 情報なし
混触危険物質	:	(ジイソブチルグルタレートとして) 情報なし (アジピン酸ジイソブチルとして) 強酸化物 (コハク酸ジイソブチルとして) 情報なし
危険有害な分解生成物	:	(ジイソブチルグルタレートとして) 情報なし (アジピン酸ジイソブチルとして) 一酸化炭素(CO)、二酸化炭素(CO ₂) (コハク酸ジイソブチルとして) 情報なし

11. 有害性情報

急性毒性	:	急性毒性(経口) (3章に挙げる各成分において) データなし 急性毒性(経皮) (3章に挙げる各成分において) データなし 急性毒性(吸入: 気体) (3章に挙げる各成分において) データなし 急性毒性(吸入: 蒸気) (3章に挙げる各成分において) データなし 急性毒性(吸入: 粉じん、ミスト) (3章に挙げる各成分において) データなし
皮膚腐食性/刺激性	:	(3章に挙げる各成分において) データなし
眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	:	(3章に挙げる各成分において) データなし
呼吸器感作性 又は皮膚感作性	:	呼吸器感作性 (3章に挙げる各成分において) データなし 皮膚感作性

	(3章に挙げる各成分において)
	データなし
生殖細胞変異原性 :	(3章に挙げる各成分において)
	データなし
発がん性 :	(3章に挙げる各成分において)
	データなし
生殖毒性 :	(3章に挙げる各成分において)
	データなし
特定標的臓器毒性 :	(3章に挙げる各成分において)
(単回ばく露)	データなし
特定標的臓器毒性 :	(3章に挙げる各成分において)
(反復ばく露)	データなし
誤えん有害性 :	(3章に挙げる各成分において)
	データなし

12. 環境影響情報

生態毒性 :	水生環境有害性 短期(急性)
	(3章に挙げる各成分において)
	データなし
	水生環境有害性 長期(慢性)
	(3章に挙げる各成分において)
	データなし
残留性・分解性 :	(3章に挙げる各成分において)
	データなし
生体蓄積性 :	(3章に挙げる各成分において)
	データなし
土壌中の移動性 :	(3章に挙げる各成分において)
	データなし
オゾン層への有害性 :	(3章に挙げる各成分において)
	データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法 :	廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。
	内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。
汚染容器及び包装 :	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国連番号 :	情報なし
品名 :	情報なし
国連分類 :	情報なし
容器等級 :	情報なし
海洋汚染物質 :	非該当
MARPOL73/78 附属書Ⅱ及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 :	非該当
特別の安全対策 :	輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。
	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
	重量物を上積みしない。

15. 適用法令

労働安全衛生法 : 非該当
 化学物質排出把握管 : 非該当
 理促進法 (PRTR 法)
 毒物及び劇物取締法 : 非該当
 消防法 : 第四類引火性液体、第三石油類非水溶性液体 (法第2条第7項別表第1第4類の項第5号備考第15号)
 船舶安全法 : 非危険物
 航空法 : 非危険物

16. その他の情報

引用文献 : JIS Z 7252 : 2019
 JIS Z 7253 : 2019
 NITE (独立行政法人製品評価技術基盤機構) <https://www.ghs.nite.go.jp/>
 Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN
 Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 21st edit., 2019 UN
 IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
 IATA 航空危険物規則書 第62版 (2021年)
 2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
 EU CLP Regulation, Annex VI

★この製品安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。

また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。
 なお、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施して下さい。

卸店: